

キックオフ



THE
BLUE
HEARTS

THE BLUE HEARTSが好きでした

突然なんだ?と思われるかもしれません、中高生のときひたすら『THE BLUE HEARTS』を聴いていました。「青空」「情熱の薔薇」「人にやさしく」「終わらない歌」歌詞に共感しすぎて、テストの余った時間に問題用紙にずっと歌詞を書いていたのを思い出します。(見直ししろよ!)

歌も好きでしたが、ボーカルの甲本ヒロトさんの残した言葉がもっと好きでした。破天荒な正確に見えて、実は優しくて、的を得たストレートな表現が自分に刺さったのだと思います。

今日学校で先生はいろんな人に話をしましたが、ふと当時のことを思い出したのでこんな通信にしました。なんのこっちゃ分からぬ人は、単純に『THE BLUE HEARTS』を聴いてみてください。

●学校に居場所がない子に言ってあげられることはありますか?

ヒロト「居場所あるよ。席あるじゃん。そこに黙って座ってりやいいんだよ。友達なんていなくて当たり前なんだから。友達じゃねえよ、クラスメイトなんて。たまたま同じ年に生まれた近所の奴が同じ部屋に集められただけじゃん。」



ヒロト「趣味も違うのに友達になれるわけないじゃん。山手線に乗ってて、『はい、この車両全員仲よく友達ね』って言われても、『いや、偶然今一緒に乗ってるだけなんですけど』って。友達じゃねえよ。」

ヒロト「ただ、友達じゃないけどさ、喧嘩せず自分が降りる駅まで平和に乗ってられなきゃダメじゃない?その訓練じゃないか、学校は。友達でもない仲よしでもない好きでもない連中と喧嘩しないで平穏に暮らす練習をするのが学校じゃないか。だからいいよ、友達なんかいなくても。」



毎日いろいろありますが、全員が出席してくれることが先生たちの幸せです。夏休みまであと少し。明日も元気に頑張りましょう。